



## L-Acoustics は Roxian Theatre 修復の一翼を担う



写真提供者：David Heath

この由緒ある大きな会場は、ピッツバーグ郊外の再開発の口火を切り、新しい Kara(i) システムは、その成功の鍵を握るの重要なコンポーネントとなりました

### 2019年7月

ペンシルベニア州、ピッツバーグの鉄鋼と石炭産業でかつて栄えていた McKees Rocks は、ダウンタウンを再開発する大きなプロジェクトのおかげで、歴史と明るい希望に満ちた暮らしやすい街になりました。再開発の目玉は、長い間放置され今年の5月に再開されたキャパ1,400の Roxian Theatre の復活です。これから Snarky Puppy、Bruce Hornsby、Bad Religion、The Psychedelic Furs、Common、Avril Lavigne、!!! (チック・チック・チック) などがヘッドライナーを務める、素晴らしいパフォーマンスを主催する予定です。このレベルのアーティストを招聘できた理由の1つは、Hollowood Music & Sound によって設計および設置された Roxian Theater の新しい L-Acoustics [Kara\(i\)](#) スピーカーシステムです。

かつてのボードビル劇場は90年を迎え2003年に閉鎖されました。近くの Lawrenceville の Thunderbird Café & Music Hall を所有する地元の起業家 John Pergal 氏が、地域の復活の一環として、複数のパートナーと協力して2017年12月に McKees Rocks Community Development Corporation から会場を購入しました。

しかし、Pergal 氏は単なるオーナーではありません。彼がメンバーになっているブルースバンド Pawnbrokers は、毎週金曜日の夜オープニングアクトの前に、バンドのギタリストと一緒にアコースティックデュオとしてクラブで演奏しています。「音響とSRシステムは多くの場所で、後付けで適当なものになることが多いです」と彼は言います。「ここだけは違います。私たちは最高のものを採用しなければなりませんでしたが、今理想的な物が出来上がりました。」

創立54を迎えた Hollowood Music & Sound の三代目の代表として、

Brad Hollowood 氏は会社の設置部門も監督しています。彼にとって、会社から徒歩2分で行ける劇場の位置が便利であったかもしれませんが、会場自体にはいくつかの課題が存在しました。

「劇場にはかなり広いバルコニーがあり、幅広い音楽ジャンルに対応することを目的としていますので、サウンドシステムはこれらすべてのニーズに対応できなければなりません」と、ハイツホールとピッツバーグ交響楽団のプロジェクトをこなし Hollowood 氏は言います。「L-Acoustics Soundvision ソフトウェアを使用して、この空間での音の振る舞いに関して非常に正確な音響モデルを得られました。そして Kara をシミュレーション通りに設置したとき、完全に一致しました。」





Kara(i) エンクロージャーは、バルコニーから明確な視線を維持するために必要なコンパクトなフォームファクタと、ほぼ一世紀経った会場の天井のために最適なパワー・ウェイトレシオを提供しました。「Karaのサイズと重量はこのプロジェクトには理想的でした」と彼は言います。「それと、このような歴史的な会場では見た目の美しさも重要なポイントです。」

Hollywood Music & Sound 施工エンジニア Nathan Shapert 氏と Dylan Engles 氏は、L-Acoustics 公認設備プロバイダ (CPI) として [Soundvision](#) のトレーニングを受け、L-Acoustics 製品マネージャの Scott Sugden 氏とアプリケーションエンジニアの Jesse Stevens 氏と密接に協力し、設置前のシステムデザイン、設置後のシステムチューニングを行いました。Hollowood 氏は、Hollywood Music & Sound が L-Acoustics としか協力しない理由として、緊密なサポートとコラボレーションを挙げています。「L-Acoustics には、さまざまな問題を解決できる製品と、あらゆる場面でサポートを提供できる豊富な経験があります」と言います。「そして、もちろん、そのスピーカーはすべて素晴らしいサウンドを提供します。」

Roxian Theatre の新しいサウンドシステムは、各側に 12 台ずつ吊られた 24 台の Kara(i) エンクロージャで構成されています。各ハングが 3 台の [SB18i](#) サブシステムで補強されており、システム全体は 7 台の [LA8](#) アンプリファイド・コントローラーによってドライブされています。さらに、ステージの下に 4 台の [KS28](#) によるサブシステムがあり、1 台の [LA12X](#) アンプにてドライブされています。1 台の [LA4X](#) でドライブされる 6 台の [X8](#) ショート・スロースピーカーがフロントフィルとして使用され、もう 1 台の [LA4X](#) でドライブされる追加の [X8](#) スピーカー 8 台がアンダーバルコニーとして使用されます。ステージでは、11 台の大型コアキシャル [X12](#) がモニターウェッジとして機能し、もう 1 台の [LA4X](#) にてドライブされます。また、3 台

の [SB18m](#) がステージのサイドフィルサブシステムとドラムフィルとして使用され、2 台の [LA12X](#) によってドライブされます。

会場のオーナーであり マネージングパートナーの John Pergal 氏は、クラブの経営者そしてミュージシャンとしても、[Kara\(i\)](#) のパフォーマンスに非常に満足しています。「声の明瞭度は素晴らしく、低域は十分にタイトです」と彼は熱狂します。「私は個人的にたくさんのラインアレイで演奏してきましたし、たくさんの会場で音楽を聴いています。会場のオーナーが聴くとはない、モニターも含めて今まで聴いたものの中で最良のシステムといえるでしょう! 私にとっては、Roxian Theatre を修復した主な理由は、ライブミュージックを提供することでした。それが私の目的です。すべての観客に素晴らしい体験をしてもらいたいのですが、L-Acoustics システムのおかげでそれは可能になります。」

